

# 単元計画（社会科）

I

単元の目標  
を作成する

II

単元の評価規準  
を作成する

III

「指導と評価の計画」  
を作成する

◇ 指導と評価の一体化に向けて、単元を見通した指導計画を作成します。計画では、各授業において「どのような力を身に付けさせるか」「どのような学習活動を行うか」を明確にし、資質・能力の3つの柱をバランスよく育成するように計画します。

◇ 評価については、「どのような力を身に付けさせるか」という指導のねらいに即した評価規準を踏まえ、評価場面や評価方法等を計画します。また、どのような評価資料（生徒の反応やノート、ワークシート等）を基に、「おおむね満足できる」状況（B）と評価するかを考えたり、「努力を要する」状況（C）への手立て等を考えたりします。

## 1 単元の目標

- 国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割、議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方、国民の権利を守り社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があること、地方自治の基本的な考え方について理解する。
- 民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。
- 民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。

- ① 主体的・対話的で深い学びを社会科の授業で実現するためには「単元の構造化」が必要である。
- ② 単元を構造化するに当たり「問い合わせ」も併せて考える。
- ③ 問いは「社会的な見方・考え方」に関連付ける必要がある。

## 2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>① 国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。</li><li>② 議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解している。</li><li>③ 国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。</li><li>④ 地方自治の基本的な考え方について理解している。その際、地方公共団体の政治の仕組、住民の権利や義務について理解している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>① 対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>① 民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</li></ul>

「～に着目して」のように具体的な視点等を示し、内容の取扱いの記載事項イを参考にして設定します。

内容の取扱いの記載事項アを参考に設定しています。

## 3 指導と評価の計画

小単元等	授業時間数
単元の導入「社会を担う主権者となるためには」	1 時間
第一次「社会の課題を解決するためには」・	4 時間
第二次「社会の課題に国全体で取り組むためには～食品ロスを例に～」	6 時間
第三次「公正な裁判の保障により人々の人権を守るためには」	4 時間
第四次「私たちが住む地域の課題を私たちの力で解決していくためには」	6 時間
単元のまとめ	1 時間

22 時間

「評定に用いる評価」（○）  
「学習改善につなげる評価」  
(●) となります。

	ねらい・学習活動等	知	思	主
導入	単元を貫く問い合わせ「社会をよりよいものにするために、最終的に決定する権力をもっている私たちはどのように政治に関わるのがよいだろうか。」について、疑問を出し合うなど対話的な活動を通して学習課題を設定するとともに、この問い合わせに対する答えを予想したり、この問い合わせの解決に役立ちそうな情報を挙げたりするなど、課題解決への見通しをもたせる			●
一次	選挙や政党など、様々な人の意見をまとめ、課題を解決するためにどのような仕組みが整えられているかを理解させ、民主政治の推進には公正な世論の形成が必要なことについて考察させる。	●	●	
二次	「食品ロス削減推進法」の成立やその取組を例に、主権者である国民が直接選んだ代表者で構成される国会や、国会の信任に基づき成立する内閣の仕組みと役割を理解させ、私たちがどのように政治に参加していくべきか、対話的な活動を通して考察、構想させる。	●	●	●
三次	模擬裁判の体験を基に、裁判で法などを根拠に公正に判断することの重要性について理解を深めさせ、法の支配の重要性や司法への参加の意義について考察させる	●	●	
四次	地方自治についての理解を深めさせるとともに、私たちの住む地域をよりよい市にしていくために、どのように地方自治に関わり、課題を解決していくべきか、対話的な活動を通して深めたことを基に考察、構想させる	●	●	
まとめ	単元を貫く問い合わせに戻り、主権者である国民の政治参加の在り方について考察、構想させる。また、単元の学習を振り返らせる		○	○

深い学びを実現するために、「社会的な見方・考え方」を働かせる問い合わせを設定することが重要性です。

主体的に学習に取り組む態度については、ある程度長い区切りの中、適切な頻度で評価することが望ましいと考えられます。

# 授業計画（社会科）

ねらい・学習活動等	評価規準（評価方法）
1. 単元を貫く問い合わせする。	「社会をよりよいものにするために、最終的に決定する権力をもっている私たちはどのように政治に関わるのがよいだろうか。」
2. 単元を貫く問い合わせを解決するための見通しを持つ。 (学習活動の概要) グループでの対話的な学習で、単元を貫く問い合わせに対する疑問を挙げながら、学習課題を設定するとともに、課題解決への見通しを立てる。	対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、学習課題を見いだし、この問い合わせに対する答えを予想したり、この問い合わせの解決に役立ちそうな情報を挙げたりするなど、解決への見通しを立てている。（ワークシート）【態：学習改善につなげる評価】
[予想される疑問] 「よりよい社会とはどのような社会か。」「様々な考えがある中で、どのようにして社会全体で取り組むのか。」など	単元のまとめ 社会を担う主権者となるために 「単元を貫く問い合わせ」を読んで生まれた疑問 問い合わせのために役立ちそうな既習事項 「単元を貫く問い合わせ」に対する答えの予想

